

分析結果報告書〔 6 〕 1 / 1 2

4 . 土壌試料 2 (ダイオキシン類及びコプラナー-PCB)

機関コード	
機関名	
郵便番号	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025(ガイト'25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者（抽出操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	()年 ()
分析主担当者（クリアップ操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	()年 ()
分析主担当者（GC/MS操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	()年 ()
測定回数	()

注) 分析用試料の量り取りからGC/MSの測定までの一連操作を行った回数を記入する。

分析結果報告書〔 6 〕 2 / 1 2

< 分析結果 (ダイオキシン類) >

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (p g / g) 注1)			標準偏差 (p g / g) 注2)
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満 での検出下限値	
P C D D 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD				
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD				
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD				
		1,2,3,6,7,8-HxCDD				
		1,2,3,7,8,9-HxCDD				
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD				
	8 塩素化物	OCDD				
	P C D F 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF				
		2,3,4,7,8-PeCDF				
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF				
		1,2,3,6,7,8-HxCDF				
		1,2,3,7,8,9-HxCDF				
		2,3,4,6,7,8-HxCDF				
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF				
		1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物		OCDF				
P C D D 同 族 体	4 塩素化物	TeCDDs				
	5 塩素化物	PeCDDs				
	6 塩素化物	HxCDDs				
	7 塩素化物	HpCDDs				
	8 塩素化物	OCDD				
	計	PCDDs				
P C D F 同 族 体	4 塩素化物	TeCDFs				
	5 塩素化物	PeCDFs				
	6 塩素化物	HxCDFs				
	7 塩素化物	HpCDFs				
	8 塩素化物	OCDF				
	計	PCDFs				
同族体の合計		PCDDs+PCDFs				

注1) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。測定回数2回以上の場合には、平均値を記入する。なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

注2) 測定回数3回以上の場合には、それらの分析結果の標準偏差を記入する。

分析結果報告書〔 6 〕 3 / 1 2

< 分析結果 (コプラナー P C B) >

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (p g / g) 注 1)			標準偏差 (p g / g) 注 2)
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限	
ノンオルト	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)				
		3,3',4,4'-TeCB (#77)				
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)				
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)				
モノオルト	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)				
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)				
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)				
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)				
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)				
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)				
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)				
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				

注 1) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁で記入する。測定回数 2 回以上の場合には、平均値を記入する。なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。
 注 2) 測定回数 3 回以上の場合には、それらの分析結果の標準偏差を記入する。

< 抽出 >

試料のはかり取り量	() g
抽出 方法 溶媒 抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類	1 . ソックスレー抽出 2 . 高速溶媒抽出 (A S E) 3 . その他 () 1 . トルエン 2 . ジクロロメタン 3 . その他 () () 時間 () m l 1 . セルロース 2 . ガラス繊維 3 . 石英 4 . その他 ()
抽出液の量	() m l
抽出液の分取 有無	1 . 分取する 2 . 分取しない (全量を濃縮する) 1 の場合の分取量 () m l
濃縮器の種類	1 . K D 2 . ロータリーエバポレーター 3 . その他 ()
濃縮後の定容量 (クリーアップ 用の試料)	() m l
クリーアップ スパイク 添加 添加箇所	1 . 添加する 2 . 添加しない 1 . 抽出前に添加 (試料に添加) 2 . 抽出後に添加 3 . その他 ()

分析結果報告書〔 6 〕 4 / 1 2

< クリーンアップ >

硫酸処理	1. 行う 2. 行わない
シリカゲルカラム	1. 行う 2. 行わない
多層シリカゲルカラム	1. 行う 2. 行わない
GC/MS分析用試料液の調製方法	1. 「ダイオキシン類用」と「コプラPCB用」に液を分割後、アルミカラムによって調製 2. HPLCによる「ダイオキシン類用」と「コプラPCB用」溶液の調製 3. 活性炭カラムカラムによる「ダイオキシン類用」と「コプラPCB用」溶液を調製 4. アルミカラムカラムによる「ダイオキシン類用」と「コプラPCB用」溶液の調製 5. 活性炭カラムカラム及びアルミカラムカラムによる「ダイオキシン類用」と「コプラPCB用」溶液の調製 6. その他()
硫黄分除去の処理	1. 行わない 2. 硝酸銀シリカゲルカラム 3. 銅(チップ又は粒状)カラム 4. 銅線(コイル状)を浸す方法 5. その他()
その他の処理	1. 行わない 2. 行う()
転溶溶媒	1. ノナン 2. トルエン 3. デカン 4. イソオクタン 5. その他()
GC/MS分析用試料液 ダイオキシン類用 コプラ-PCB用	() µl () µl

< GC / MS 1 >

対応物質 1 (複数回答可)	ダイオキシン類 コプラ-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 1 型式		1. GC 17 シリーズ 2. 6 8 9 0 シリーズ 3. その他()
カラム 1 型式 内径 長さ 膜厚		1. Aquatic 2. BPX 5 3. BPX 5 0 4. BPX-DXN 5. CP-Sil 8 8 6. DB 1 7. DB 5 8. DB 1 7 9. HP 1 10. HP 5 11. HT 8 12. PTE 5 13. RH 1 7 14. SP 2 3 3 1 15. TC 5 16. その他() () mm () m () µm
昇温条件 1 初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 1 量 注入口温度 注入方式		() µl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス 1 流量		() ml/分
MS 1 型式		1. Auto Spec Ultima 2. JMS 7 0 0 シリーズ 3. JMS 8 0 0 シリーズ 4. MAT 9 5 シリーズ 5. SX 1 0 2 6. 5 9 7 2 シリーズ 7. 5 9 7 3 シリーズ 8. 6 8 9 0 シリーズ 9. QP 5 0 0 0 シリーズ 10. QP 5 0 5 0 シリーズ 11. オートマス 1 5 1 2. その他()
測定時の分解能 1		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 1 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500 µA未満 2. 500~1000 µA 3. 1000 µAを超える ()

分析結果報告書〔 6 〕 5 / 1 2

< GC / MS 2 >

対応物質 2 (複数回答可)	ゲイジン類 コブナ-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 2 型式		1. GC 17 シリーズ 2. 6 8 9 0 シリーズ 3. その他 ()
カラム 2 型式 内径 長さ 膜厚		1. Aquatic 2. BPX 5 3. BPX 5 0 4. BPX-DXN 5. CP-Sil 8 8 6. DB 1 7. DB 5 8. DB 1 7 9. HP 1 10. HP 5 11. HT 8 12. PTE 5 13. RH 1 7 14. SP 2 3 3 1 15. TC 5 16. その他 () () mm () m () μm
昇温条件 2 初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度 ()、温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 最終温度 ()、温度保持 () 分 回数 () 回
注入 2 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他 ()
キャリアーガス 2 流量		() ml / 分
MS 2 型式		1. Auto Spec Ultima 2. JMS 7 0 0 シリーズ 3. JMS 8 0 0 シリーズ 4. MAT 9 5 シリーズ 5. SX 1 0 2 6. 5 9 7 2 シリーズ 7. 5 9 7 3 シリーズ 8. 6 8 9 0 シリーズ 9. QP 5 0 0 0 シリーズ 10. QP 5 0 5 0 シリーズ 11. オートマス 1 5 12. その他 ()
測定時の分解能 2		1. 10000 未満 2. 10000 ~ 12000 3. 12000 を超える
イオン化 2 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他 () 1. 40V 未満 2. 40 ~ 70V 3. 70V を超える 1. 500 μA 未満 2. 500 ~ 1000 μA 3. 1000 μA を超える ()

分析結果報告書〔 6 〕 6 / 1 2

< GC / MS 3 >

対応物質 3 (複数回答可)	ゲイジン類 コブナ-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 3 型式		1. GC 17 シリーズ 2. 6 8 9 0 シリーズ 3. その他 ()
カラム 3 型式 内径 長さ 膜厚		1. Aquatic 2. BPX 5 3. BPX 5 0 4. BPX-DXN 5. CP-Sil 8 8 6. DB 1 7. DB 5 8. DB 1 7 9. HP 1 10. HP 5 11. HT 8 12. PTE 5 13. RH 1 7 14. SP 2 3 3 1 15. TC 5 16. その他 () () mm () m () μm
昇温条件 3 初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度 ()、温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () / 分 到達温度 () 温度保持 () 分 最終温度 ()、温度保持 () 分 回数 () 回
注入 3 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他 ()
キャリアーガス 3 流量		() ml / 分
MS 3 型式		1. Auto Spec Ultima 2. JMS 7 0 0 シリーズ 3. JMS 8 0 0 シリーズ 4. MAT 9 5 シリーズ 5. SX 1 0 2 6. 5 9 7 2 シリーズ 7. 5 9 7 3 シリーズ 8. 6 8 9 0 シリーズ 9. QP 5 0 0 0 シリーズ 10. QP 5 0 5 0 シリーズ 11. オートマス 1 5 12. その他 ()
測定時の分解能 3		1. 10000 未満 2. 10000 ~ 12000 3. 12000 を超える
イオン化 3 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他 () 1. 40V 未満 2. 40 ~ 70V 3. 70V を超える 1. 500 μA 未満 2. 500 ~ 1000 μA 3. 1000 μA を超える ()

分析結果報告書〔6〕 7 / 12

< GC / MS 4 >

対応物質 4 (複数回答可)	ゲイジン類 コブナ-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 4 型式		1. GC 17 シリーズ 2. 6 8 9 0 シリーズ 3. その他 ()
カラム 4 型式 内径 長さ 膜厚		1. Aquatic 2. BPX 5 3. BPX 50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil 88 6. DB1 7. DB5 8. DB17 9. HP1 10. HP5 11. HT8 12. PTE5 13. RH17 14. SP2331 15. TC5 16. その他 () () mm () m () μm
昇温条件 4 初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度 ()、温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 最終温度 ()、温度保持 () 分 回数 () 回
注入 4 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他 ()
キャリアーガス 4 流量		() ml/分
MS 4 型式		1. Auto Spec Ultima 2. JMS 700 シリーズ 3. JMS 800 シリーズ 4. MAT 95 シリーズ 5. SX 102 6. 5972 シリーズ 7. 5973 シリーズ 8. 6890 シリーズ 9. QP 5000 シリーズ 10. QP 5050 シリーズ 11. オートマス 15 12. その他 ()
測定時の分解能 4		1. 10000 未満 2. 10000 ~ 12000 3. 12000 を超える
イオン化 4 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他 () 1. 40V 未満 2. 40 ~ 70V 3. 70V を超える 1. 500 μA 未満 2. 500 ~ 1000 μA 3. 1000 μA を超える ()

分析結果報告書〔6〕 8 / 1 2

< GC / MS 5 >

対応物質 5 (複数回答可)	ダ イオキシン類 コブ ラ-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 5	型式	1. GC 17 シリーズ 2. 6 8 9 0 シリーズ 3. その他 ()
カラム 5	型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. BPX 5 3. BPX 5 0 4. BPX-DXN 5. CP-Sil 8 8 6. DB 1 7. DB 5 8. DB 1 7 9. HP 1 10. HP 5 11. HT 8 12. PTE 5 13. RH 1 7 14. SP 2 3 3 1 15. TC 5 16. その他 () () mm () m () μm
昇温条件 5	初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度 ()、 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 速度 () /分 到達温度 () 温度保持 () 分 最終温度 ()、 温度保持 () 分 回数 () 回
注入 5	量 注入口温度 注入方式	() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他 ()
キャリアーガス 5	流量	() ml /分
MS 5	型式	1. Auto Spec Ultima 2. JMS 7 0 0 シリーズ 3. JMS 8 0 0 シリーズ 4. MAT 9 5 シリーズ 5. SX 1 0 2 6. 5 9 7 2 シリーズ 7. 5 9 7 3 シリーズ 8. 6 8 9 0 シリーズ 9. Q P 5 0 0 0 シリーズ 10. Q P 5 0 5 0 シリーズ 11. オートマス 1 5 12. その他 ()
測定時の分解能 5		1. 10000 未満 2. 10000 ~ 12000 3. 12000 を超える
イオン化 5	方法 電圧 電流 イオン源温度	1. EI 2. その他 () 1. 40V 未満 2. 40 ~ 70V 3. 70V を超える 1. 500 μ A 未満 2. 500 ~ 1000 μ A 3. 1000 μ A を超える ()

< 検量線の作成 >

検量線	ダ イオキシン類 作成点数 作成範囲 (濃度) 繰り返し数 コブ ラ-PCB 作成点数 作成範囲 (濃度) 繰り返し数	() 最小 () ng / ml ~ 最大 () ng / ml () () 最小 () ng / ml ~ 最大 () ng / ml ()
標準物質 (液)	ダ イオキシン類 製造メーカ 開封後の月数 コブ ラ-PCB 製造メーカ 開封後の月数	1. CIL 2. Wellington 3. その他 () () 月 1. CIL 2. Wellington 3. その他 () () 月
装置安定性	感度変動 保持時間変動	() % () %

分析結果報告書〔 6 〕 9 / 1 2

< 内標準物質（ダイオキシン類）の添加量と回収率 >（使用した内標準物質に対応する欄に記入する）

塩素数	内標準物質	クリンツァッパ [®] スパ [®] イウ		シリンジ [®] スパ [®] イウ
		添加量 (n g)	回収率 (%)	添加量 (n g)
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4-TeCDD			
	¹² C ₈ ¹³ C ₇ -1, 2, 3, 4-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1, 3, 6, 8-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -2, 3, 7, 8-TeCDD			
	³⁷ Cl-2, 3, 7, 8-TeCDD			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 7, 8-PeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 7-PeCDD			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 7-HxCDD			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDD			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDD			
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2, 3, 7, 8-TeCDF			
	¹² C ₈ ¹³ C ₇ -2, 3, 7, 8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 7, 8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 3, 6, 8-TeCDF			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 7, 8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -2, 3, 4, 7, 8-PeCDF			
	¹² C ₈ ¹³ C ₇ -2, 3, 4, 7, 8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6-PeCDF			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDF			
	¹² C ₈ ¹³ C ₇ -1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -2, 3, 4, 6, 7, 8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 9-HxCDF			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDF			
	¹² C ₈ ¹³ C ₇ -1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 7, 8, 9-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 8, 9-HpCDF			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDF			
その他	()			
	()			

分析結果報告書〔 6 〕 10 / 12

＜内標準物質（コプラナーPCB）の添加量と回収率＞（使用した内標準物質に対応する欄に記入する）

塩素数	内標準物質	クリンツァッパ [®] スパ [®] イウ		シリンジ [®] スパ [®] イウ
		添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,4,4',5-TeCB			
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4'-TeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4',5-TeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',5,5'-TeCB			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2',3,4,4',5-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4'-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,4',5-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',5,5'-PeCB			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5,5'-HxCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5,5'-HxCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5-HxCB			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5'-HxCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5-HxCB			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5,5'-HpCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5,5'-HpCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,3',4,4',5-HpCB			
その他	()			
	()			

＜空試験値及び相対感度係数（ダイオキシン類）＞（空試験値が検出されない場合には、その項目の欄は記入しない）

塩素数	分析項目	空試験値 (pg/gに換算)	相対感度係数	
			RRFcs	RRFss
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

分析結果報告書〔 6 〕 1 1 / 1 2

< 空試験値及び相対感度係数 (コプラナー PCB) > (空試験値が検出されない場合には、その項目の欄は記入ない)

塩素数	分析項目	空試験値 (pg/gに換算)	相対感度係数	
			RRFcs	RRFss
ノン オル ト	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB		
		3,3',4,4'-TeCB		
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB		
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB		
モノ オル ト	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB		
		2,3',4,4',5-PeCB		
		2,3,3',4,4'-PeCB		
		2,3,4,4',5-PeCB		
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB		
		2,3,3',4,4',5-HxCB		
		2,3,3',4,4',5'-HxCB		
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB		

< 検出下限値 (ダイオキシン類) >

塩素数	分析項目	装置の検出下限 (pg)	測定方法 (試料 における) の検 出下限 (pg/g)	試料測定時の検 出下限 (pg/g)
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

分析結果報告書〔 6 〕 1 2 / 1 2

< 検出下限値 (コプラナー P C B) >

塩素数	分析項目	装置の検出下限 (p g)	測定方法 (試料 における) の検 出下限 (p g / g)	試料測定時の検 出下限 (p g / g)
ノ ン オ ル ト	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB		
		3,3',4,4'-TeCB		
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB		
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB		
モ ノ オ ル ト	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB		
		2,3',4,4',5-PeCB		
		2,3,3',4,4'-PeCB		
		2,3,4,4',5-PeCB		
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB		
		2,3,3',4,4',5-HxCB		
		2,3,3',4,4',5'-HxCB		
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB		

< 測定質量数 > (質量数は 2 つまで回答可)

塩素数	分析項目	質量数
P C D D	4 塩素化物	TeCDD 1 . 319.8965 2 . 321.8936 3 . その他 ()
	5 塩素化物	PeCDD 1 . 353.8576 2 . 355.8546 3 . 357.8517 4 . 357.8576 5 . 389.8816 6 . その他 ()
	6 塩素化物	HxCDD 1 . 387.8186 2 . 389.8156 3 . 391.8127 4 . その他 ()
	7 塩素化物	HpCDD 1 . 423.7767 2 . 425.7737 3 . 389.8156 4 . その他 ()
	8 塩素化物	OCDD 1 . 457.7377 2 . 459.7348 3 . 423.7377 4 . その他 ()
P C D F	4 塩素化物	TeCDF 1 . 303.9016 2 . 305.8987 3 . 317.9389 4 . その他 ()
	5 塩素化物	PeCDF 1 . 339.8597 2 . 341.8568 3 . その他 ()
	6 塩素化物	HxCDF 1 . 373.8203 2 . 375.8178 3 . 371.8237 4 . その他 ()
	7 塩素化物	HpCDF 1 . 407.7816 2 . 409.7788 3 . その他 ()
	8 塩素化物	OCDF 1 . 439.7457 2 . 441.7428 3 . 443.7398 4 . その他 ()
コ プ ラ ナ ー P C B	4 塩素化物	TeCB 1 . 289.9224 2 . 291.9194 3 . 293.9165 4 . その他 ()
	5 塩素化物	PeCB 1 . 323.8834 2 . 325.8804 3 . 327.8775 4 . その他 ()
	6 塩素化物	HxCB 1 . 357.8444 2 . 359.8415 3 . 361.8385 4 . その他 ()
	7 塩素化物	HpCB 1 . 391.8054 2 . 393.8025 3 . 395.7995 4 . その他 ()

